

令和 7 年度 学校関係者評価委員会 報告書

実施日：令和 8 年 3 月 23 日

長岡美容専門学校

令和7年度 学校関係者評価委員会

日 時 2026年3月23日(月) 13:00～

場 所 長岡美容専門学校

出席委員

【学校関係者評価委員】

株式会社 J-Color 美容しょうへいの店四郎丸店 佐藤 剛 委員

Souko3247 金子 利久 委員

【自己評価委員】

長岡美容専門学校 校長 風間理江(司会)

長岡美容専門学校 教務主任 長島亜衣子

書 記 長岡美容専門学校 教務主任 長島亜衣子

【評価結果 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1】

1. 教育理念・目標

評価項目	評価
学校の理念・教育目標・育成人材像は定められているか	4
教育目標・育成人材像は、美容業界のニーズに即したものとなっているか	4
学校の特色や将来構想は、社会経済や地域のニーズを踏まえているか	3

【課題】

理念や人材育成像は周知が十分とはいえない

【改善策】

入学時のガイダンス等を通じて教育理念・目標・育成人材像の周知を強化する。

【学校評価委員】

多角的に見ているのが良い。周知に関しては、学生・保護者ともにしっかり伝えてほしい

2. 学校運営

評価項目	評価
教育理念・目標に沿った運営方針・事業計画が策定され、適切に運営されているか	3
組織体制や意思決定の仕組みは明確で、有効に機能しているか	4

【課題】

クラス運営はクラウド上で行えるシステムを導入し、活用している。しかし、業務の効率化においてはやや足りていない部分がある

【改善策】

教務と事務間の連携部分で見直す余地がある。

【学校評価委員】

人材は必要だが、結果が見え始めていることが良い。引き続き業務効率化に努めてもらい、教職員の負担の無いよう工夫してもらいたい。

3. 教育活動

評価項目	評価
教育理念や育成人材像を踏まえた教育課程・カリキュラムが体系的に編成されているか	4
実習や実技を中心とした職業教育が、実践力の育成につながっているか	4
資格取得や職業教育に対応できる教員体制・指導体制が整っているか	4

【課題】

職員に対する研修が不足している

【改善策】

全教職員を対象とした研修、職員が積極的に研修に参加するよう努める。

【学校評価委員】

引き続き、全教職員が能力向上できるよう努めてもらいたい

4. 学修成果

評価項目	評価
美容師国家試験の合格率や就職状況は、教育目標に照らして適切か	4
学習成果や卒業後の状況を把握し、教育改善に活かしているか	4

【課題】

卒業生の進路や活動状況についての情報は把握しているが、それを教育活動の改善に体系的に活かす仕組みが十分に整っていない

【改善策】

卒業後のキャリアを描けるよう、卒業生による講和や座談会を実施し、在校生が卒業後のキャリアを具体的に描けるよう支援する。

【学校評価委員】

現場に出ると、学生時代には思い描かないようなことはよくある。そこで現場とのギャップを感じて離職に繋がる可能性がある。在学中に卒業後のキャリアや現場のイメージができていると現場でも指導しやすい。

5. 学生支援

評価項目	評価
就職支援や進路指導体制は適切に整備されているか	4
学生相談や生活指導など、学生の学修継続を支える体制が整っているか	4
保護者や関係機関との連携は適切に行われているか	4

【課題】

全学生が学校生活を支援してくれていると感じているわけではないという結果に至り、相談しやすい環境づくりを今一度見直さなければならない。

【改善策】

まずは環境づくりを行い、教職員の対応について研修の機会を設けるなど行いたい。

【学校評価委員】

学生へのアンケート項目や設問の仕方について、もう少し踏み込んだ回答がえられるようにしたほうがよい。

6. 教育環境

評価項目	評価
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4

【課題】

施設・設備は概ね整備されており、防災訓練も年1回全校で実施しているが、さらなる充実が求められる

【改善策】

学生がより快適かつ安全に学べる環境を整えるため、施設・設備の段階的な改善を継続的に進めていく。

【学校評価委員】

学生が安心して学べるよう、引き続き教育環境の整備に努めていただきたい。

7. 学生の受入れ募集

評価項目	評価
学生募集活動は適切かつ計画的に行われているか	3
教育内容や成果は、正確に分かりやすく発信されているか	3

【課題】

学生募集活動は継続して実施しているものの、現状では目標数に達しておらず、改善の余地がある

【改善策】

オープンキャンパスや SNS 等を活用した広報活動をさらに充実させ、認知度向上と学生募集の強化を図る。

【学校評価委員】

引き続き、学生募集活動に積極的に取り組み、広報の工夫と継続的な改善に努めていただきたい。

8. 財務

評価項目	評価
学校運営を継続するための財務基盤は安定しているか	2
予算管理や会計処理は適切に行われているか	4

【課題】

学校の財務基盤の安定に向けた具体的な施策が求められている

【改善策】

毎年、定員の 2/3 以上の入学生を安定的に確保できるよう、学生募集活動の強化に継続して取り組む。

【学校評価委員】

財務の安定に向けて、引き続き適正な運営と学生募集活動の充実に努めていただきたい。

9. 法令等の遵守

評価項目	評価
法令や専修学校設置基準を遵守した適正な運営が行われているか	4
自己評価の実施および改善への取り組みが行われているか	4

【課題】

現段階では、自己評価結果のホームページ上での公開が実施されていない

【改善策】

教育活動の透明性を高めるため、自己評価結果をホームページ上で公開する体制を整備し、実施する。

【学校評価委員】

引き続き、法令遵守と情報公開の適正な運営に努めていただきたい。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
地域社会や美容業界と連携した教育・社会貢献活動が行われているか	4
学生の社会参加やボランティア活動を支援しているか	4

【課題】

特になし

【改善策】

今後も地域イベントやボランティア活動への参加を継続し、地域との連携を深めることで、社会貢献の意識を育む。

【学校評価委員】

福祉は必須になるのでとても良い。浴衣の着付活動なども良いのではないかと。学生が取り組めることを積極的に導入し、地域貢献につなげてほしい。